

英語【中学校第3学年】

正答の状況

年 度		平成31年度	
領 域		聞く、読む、書くこと	話すこと（参考値）
平均 正答数	県	11.2問／21問	1.5問／5問
	全国	11.8問／21問	1.5問／5問
平均 正答率	県	53%	
	全国	56.0%	

今回の調査結果から明らかになった課題

- 課題1 聞いたり読んだりして理解した内容について、適切に応じること
- 課題2 まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解すること
- 課題3 語や文法事項等を正しく用いて、文を書くこと
- 課題4 情報や考えなどを即興でやり取りすること

課題が見られた問題の概要、問題点とその改善点

課題が見られた問題の概要

課題1 聞いたり読んだりして理解した内容について、適切に応じること

【設問4の概要】

来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く。

【平均正答率(%)】					正答	解答類型	反応率(%)
	本県	全国	差	自校			
4	6	8	-2		◎	条件を満たし、十分理解できる英語	3
					○	条件を満たし、おおむね理解できる英語	3
						無解答	46

【設問8の概要】

食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く。

【平均正答率(%)】					正答	解答類型	反応率(%)
	本県	全国	差	自校			
8	10	11	0		◎	条件を満たし、十分理解できる英語	4
					○	条件を満たし、おおむね理解できる英語	2
					○	条件をほぼ満たし、おおむね理解できる英語	4
						無解答	31

問題点とその改善点

無解答率が設問4では46%、設問8では31%であり、全国と比較しても4で約4ポイント、8で約3ポイント高かった。誤りを恐れずに積極的に表現しようとする態度が十分に身に付いてない。また、英語が理解できても自分の考えが思い付かずには書けない生徒もいたと思われる。「聞いて書く」、「読んで書く」という統合的な問題においては、おおむね理解できる英語（「動詞の活用形の誤り」や「形容詞の誤り」、「主語の欠落」、「つづりの誤り」、「語や句での解答」などの、書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項等の誤りがないもの）も正答と見なされていることを踏まえた指導を行う必要がある。

- 正しい発音や語と語の連結による音変化を意識した音読を行う。
- 理解したことについて語や句を言わせることから始め、徐々に使える英語を増やす。
- 聞いたり読んだりした内容について、キーワードやタイトルを考えさせる。
- 理解した内容についての考えをペアやグループで出し合わせる。

課題2 まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解すること

【設問7の概要】

チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する。

【平均正答率(%)】				
	本県	全国	差	自校
7	30	33	-3	

問題点とその改善点

説明文を読んで要点を的確にとらえる力が身に付いていない。

- 一文一文を「英語の語順のまま」、「速く」読めるようにする。
- まとまりのある文章を最初から最後まで読ませて、英文の概要や要点をとらえさせる。
- 各段落の最も大切な英文を選び、比較させ、文章の最も大切な部分は何か考えさせる。

課題3 語や文法事項等を正しく用いて、文を書くこと

【設問9の概要】

与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文（3人称単数現在時制）を書く。

【平均正答率(%)】				
	本県	全国	差	自校
9 (3)①	49	54	-5	
9 (3)②	27	33	-6	
9 (3)③	28	37	-9	

問題点とその改善点

設問9は、(3)だけでなく、(2)②（1人称複数過去時制の肯定文）の正答率も17%（全国20%）と低く、基本的な英語を正確に書く力が身に付いていない。また、コミュニケーションの目的、場面、状況等に応じて、文法についての知識を活用できていない。

- 発音と綴りの関係を意識して語句や文を書かせる。
- 多くの例文を与えて英文の規則に気付かせ、場面設定を伴う練習に取り組ませる。
- 既習の文法事項を、聞いたり話したりすることを含め、様々な場面で繰り返し扱う。
- 書いた英文を生徒同士で読み合い、誤りを修正させ、誤りに自ら気付けるようにする。

課題4 情報や考えなどを即興でやり取りすること

【設問「話すこと」2の概要】

写真についての対話の内容を踏まえて、即興で適切な質問を行う。

【平均正答率(%)】				
	本県	全国	差	自校
4	8	10	-2	

正答	解答類型	反応率(%)
◎	やり取りを踏まえた正確な英語	6
○	やり取りを踏まえたおおむね正確な英語	2
	その他の解答	68
	無解答	24

問題点とその改善点

情報や考えなどを即座にやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえて会話を継続する力が身に付いていない。

- 教師自身が生徒とやり取りを行い、英語の使い方についてのモデルを示す。
- やり取りの前段階として、絵や写真等について思い付いた英語を自由に言わせる。
- 教科書を十分音読した後に、内容を英語で言わせたり、自分の考えを言わせたりする。
- 準備時間を設けず、最初から即興的なやり取りを行う機会を設定する。
- 生徒の発言を教師が補足したり言い換えたりして徐々に表現できる英語を増やす。

《コラム》

英語の調査については、昨年度のうちに予備調査問題が公開され、「話すこと」も含めた各問題の出題形式が明らかになっていた。調査問題は、将来を担う生徒に必要な力が何かを知らせるメッセージである。そのメッセージを読み取り、当該生徒に同一あるいは類似の問題を解かせたり、授業改善をするなどの取組は行えたのだろうか。そして現在、自校の結果を正面から受け止め、今回のような調査問題を解ける力を身に付けさせるための指導改善が行われているのだろうか。